

# 酒匂川漁業協同組合

## 内共第3号第5種共同漁業権遊漁規則

### (目的)

第1条 この規則は、酒匂川漁業協同組合が免許を受けた内共第3号第5種共同漁業権に係る漁場（以下単に「漁場」という。）の区域において、組合員以外の者のする当該漁業権の対象となっている水産動物（やまめ、いわな、にじます、あゆ、うぐい、おいかわ、ふな、こい、うなぎをいう。以下同じ。）の採捕（以下「遊漁」という。）についての制限に関し必要な事項を定めるものとする。

### (遊漁料の納付義務)

第2条 漁場の区域内において、竿釣またはもじり（うなぎに限る）の漁具、漁法によって遊漁しようとする者は、あらかじめ第7条に規定する遊漁料を納付しなければならない。

### (漁具、漁法の制限)

第3条 漁場の区域内においては、第2条に掲げる漁具、漁法以外によって遊漁をしてはならない。

2 竿釣の場合、竿の使用本数は1人1本とする。但し、こい、うなぎに限り1人2本以内とする。

また、もじりの使用本数は1人20本以内とする。

3 餌（まき餌を含む。）を使用してあゆを採捕してはならない。

4 コログシ、シャクリによって、あゆ以外の水産動物を採捕してはならない。

5 あゆ友釣のハリスの長さは、あゆの尾びれ末端より10センチメートル以内とする。

6 次の表のア欄に掲げる区域においては、それぞれイ欄の期間中ウ欄の漁具、漁法によって遊漁をしてはならない。

ア 区域	イ 期間	ウ 漁具・漁法
<p>小田原市栢山地先報徳橋橋脚下流端から下流へ小田原市飯泉地先飯泉取水堰堤天端上流端から上流へ120メートルまで及び小田原市蓮正寺地先狩川橋橋脚下流端から下流の狩川の区域</p> <p>南足柄市狩野地先大泉河原橋橋脚下流端から上流へ南足柄市広町地先上山下橋橋脚上流端から上流へ75メートルまでの区域</p>	<p>6月1日から 10月14日まで</p>	<p>コロガシ シャクリ</p>
<p>東海道本線鉄橋橋脚下流端から下流へ基点A・Bの直線までの区域</p>	<p>6月1日から 10月14日まで</p>	<p>コロガシ シャクリ</p>
<p>足柄上郡山北町山北地先山北堰堤天端下流端から下流へ小田原市栢山地先報徳橋橋脚下流端まで及び南足柄市斑目地先文命用水放水門上流端から下流の区域</p>	<p>6月1日から 9月30日まで</p>	<p>コロガシ シャクリ</p>
<p>足柄上郡山北町神縄地先神縄堰堤天端下流端から下流へ山北町谷峨地先東京電力(株)山北発電所取水堰堤天端上流端までの区域</p>	<p>6月1日から 9月30日まで</p>	<p>コロガシ シャクリ</p>
<p>酒匂川全域（支流を含む）</p>	<p>3月1日から 5月31日まで</p>	<p>毛針 但し、やまめ、いわな、にじますを除く</p>

基点A 小田原市東町四丁目 496 番口に設置した標識

基点B 小田原市西酒匂一丁目 1,653 番 12 に設置した標柱

(遊漁期間)

第4条 次の表のア欄に掲げる魚種を対象とする遊漁は、それぞれイ欄に掲げる期間でウ欄の時間内でなければならない。

ア 魚種	イ 期間	ウ 時間
やまめ	3月1日から10月14日まで	日の出1時間前から 日没1時間後まで
いわな	同上	同上
にじます	同上 但し、別記区域においては1月1日から12月31日まで	同上
あゆ	6月1日から10月14日まで及び12月1日から12月31日まで、但し、基点E・Fの直線から上流の世附川、基点G・Hの直線から上流の中川川及び基点I・Jの直線から上流の玄倉川の全域においては、6月1日から10月14日まで	同上
うぐい	1月1日から12月31日まで、但し、基点E・Fの直線から上流の世附川、基点G・Hの直線から上流の中川川及び基点I・Jの直線から上流の玄倉川の全域においては、3月1日から10月14日まで	同上
おいかわ	同上	同上
ふな	同上	同上
こい	同上	同上
うなぎ	同上	時間制限なし

基点 E 足柄上郡山北町世附字栗の木日影 889 番 2 に設置した標柱

基点 F 足柄上郡山北町世附字上ノ山 970 番 1 に設置した標柱

基点 G 足柄上郡山北町中川字源蔵 220 番 3 に設置した標柱

基点 H 足柄上郡山北町中川字小塚 898 番 26 に設置した標柱

基点 I 足柄上郡山北町玄倉字大ノ山 588 番 6 に設置した標柱

基点 J 足柄上郡山北町玄倉字立間 570 番 18 に設置した標柱

#### 別記区域

足柄上郡松田町寄 5,571 番地先床固工（通称田代下床固工）天端下流端から下流へ同町寄 1,164 番地先に設置した標柱までの 700 メートルの中津川の区域、南足柄市矢倉沢字銭窪 1,653 番地先堰堤（通称銭窪用水路取水堰堤）天端下流端から下流へ同市矢倉沢字川入 238 番の 3 地先堰堤（通称ねがらみ堰堤）天端上流端までの狩川の区域及び足柄上郡山北町中川字西沢 872 番地先西沢吊り橋橋台下流端から下流へ同町中川字石堂 867 番地先東京電力（株）落合発電所取水堰堤天端上流端までの 500 メートルの中川川の区域、足柄上郡山北町世附地先芦沢堰堤下流端から同町世附地先第 6 号石堰堤上流端までの世附川の区域及び足柄上郡山北町世附地先栗ノ木堰堤下流端から世附川との合流点までの大又沢の区域

#### （禁止区域）

第 5 条 前条の規定にかかわらず、次に掲げる区域において遊漁してはならない。

- (1) 小田原市飯泉地先飯泉取水堰堤天端上流端から上流へ 120 メートルまで及び同堰堤天端上流端から下流へ東海道本線鉄橋橋脚下流端までの区域。
- (2) 足柄上郡開成町吉田島地先栢山頭首工堰堤天端上流端から上流へ 10 メートルまで及び同頭首工天端上流端から下流へ 85 メートルまでの区域。
- (3) 足柄上郡山北町平山地先東京電力（株）内山発電所取水堰堤魚道天端上流端から下流へ 55 メートルまでの区域。

#### （全長の制限）

第 6 条 次のア欄に掲げる魚種については、それぞれイ欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。

ア 魚種	イ 全長
やまめ	15センチメートル
いわな	同上
にじます	同上
うぐい	10センチメートル
ふな	同上
こい	18センチメートル
うなぎ	24センチメートル

(遊漁料の額及び納付の方法)

第7条 第2条に掲げる漁具、漁法によって遊漁をする場合で、小田原市桑原862番地2先酒匂川漁業協同組合及びその他組合が委託した遊漁承認証取扱所において納付するとき(店扱い)、または、遊漁をする場所において漁場監視員に納付するとき(現場扱い)の遊漁料の額は、それぞれ次表のとおりとする。

魚種	漁具、漁法	遊漁料
やまめ、いわな、にじます、あゆ、うぐい、おいかわ、ふな、こい、うなぎ	竿釣 (但し、うなぎは竿釣、もじり)	1日(店扱い) 1,500円 (現場扱い) 2,500円 1年 12,000円
うぐい、おいかわ、ふな、こい、うなぎ	同上	1日(店扱い) 800円 (現場扱い) 1,500円

2 前項の規定にかかわらず、次表左欄に掲げる者の遊漁料は、次表右欄のとおりとする。

未就学の幼児、小学生	無料
身体障害者(身体障害者福祉法第15条に基づく手帳を提示した者)	年券に限り第1項に規定する額の1/2に相当する額
中学生	年券に限り第1項に規定する額の1/4に相当する額

(遊漁承認証に関する事項)

第8条 組合は、第2条の遊漁料の納付を受けたときは、別記様式第1号の遊漁承認証(以下「遊漁承認証」という。)を交付するものとする。

2 遊漁者は、遊漁承認証を他人に貸与してはならない。

(遊漁に際し守るべき事項)

第9条 遊漁者は、遊漁をする場合には、必ず本人が遊漁承認証を所持し、これを帽子その他漁場監視員の見やすいところへ取り付けなければならない。

2 遊漁者は、遊漁に際しては、漁場監視員の指示に従わなければならない。

3 遊漁者は、遊漁に際しては、相互に適当な距離を保ち、他の者の迷惑となる行為をしてはならない。

4 ア欄に掲げる区域は、毎年産卵場に指定するため、遊漁者は、ア欄の区域の川底をイ欄に掲げる期間攪拌してはならない。

ア 区域	イ 期間
小田原市中新田地先東海道本線鉄橋橋脚 下流端から下流へ第3条第6項に規定する 基点A・Bの直線までの区域	9月15日から11月30日まで

(漁場監視員)

第10条 漁場監視員は、この規則に励行に関して必要な指示を行うことがある。

2 漁場監視委員は、別記様式第2号の漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。

(違反者に対する措置)

第11条 組合は、遊漁者がこの規則に違反したときは、直ちにその者に遊漁の中止を命じ、又は以後その者の遊漁を拒絶することがある。この場合、遊漁者が既に納付した遊漁料の払い戻しはしないものとする。

付 則

- 1 この規則は、平成25年9月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成30年1月1日から施行する。

様式 1

年 遊漁承認証	
年券	写 真
遊漁料	
住所	
氏名	
年 月 日 生	
酒匂川漁業協同組合 印	

年 日釣遊漁承認証	
月	日
魚 種	
扱 印	遊漁料
酒匂川漁業協同組合 印	

様式 2

漁 場 監 視 員 証	有 効 期 限
	年 月 日
	年 月 日
住 所	
氏 名	
年 月 日 生	
上記は漁場監視員であることを証明する。	
酒匂川漁業協同組合 印	

